

彩と共に豊かな暮らしへ
日本ピグメント



日本**ピグメント**株式会社

証券コード：4119

Interim Business Report



第85期 中間報告書

2020.4.1 ▶ 2020.9.30



株主のみなさまへ



取締役社長 加藤 龍巳

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素から格別のご支援とご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、このたびの新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた方々に、心からお見舞い申し上げます。

当社第85期上半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の「ビジネスレポート」をお届けいたします。

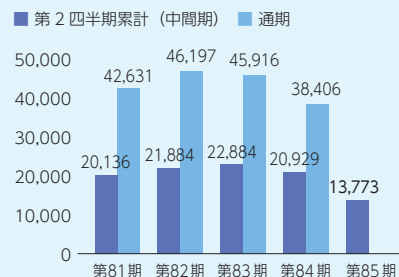
第85期上半期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、世界的に景気が後退し、国内外ともに大変厳しい経済環境となりました。

このような厳しい環境下、当社グループでは、中期経営計画「Challenge2020」の最終年度として、企業価値向上を図るべく、取り組んで参る所存です。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

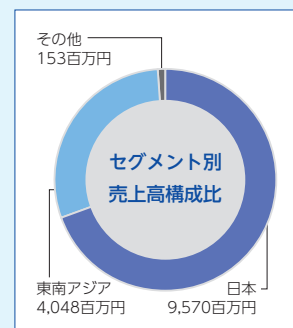
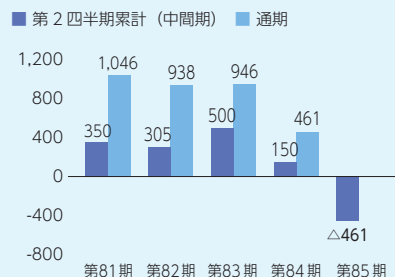
2020年12月

■ 連結業績ハイライト

売上高（百万円）



営業利益又は営業損失（△）（百万円）



第85期上半期の業績

【日本】

国内部門別の概況として当社主要事業である樹脂コンパウンド部門は、自動車メーカーの大幅減産等の影響により、当社取引先である樹脂メーカーからの受注も大幅に減少いたしました。夏場以降、受注は回復基調であるものの、期前半の影響が大きく部門営業利益は昨年を下回りました。

樹脂用着色剤部門は、一部のフィルム関連は堅調に推移し、自動車関連が回復傾向にあったものの、化粧品・トイレタリー向け等が大きく落ち込み、部門営業利益は昨年を下回りました。

加工カラー部門は、主要取引先の自動車用内装材関連ならびにシーリング材関係で販売が回復したものの、液晶テレビ用途で中国経済活動低迷の影響が引き続き残り、部門営業利益は昨年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は95億7千万円（前年同期比21.4%減）、営業損失は4億3千3百万円（前年同期営業損失1億6千9百万円）となりました。

【東南アジア】

東南アジアは、各拠点において各国の感染拡大防止策としての社会的制限を直接的、間接的に受け、制限下での生産・販売活動となったことから、全般的に販売数量は大幅な減少となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は一部地域で国際会計基準（IFRS15）により売上高を純額表示すべき受託加工品の影響もあり、40億4千8百万円（前年同期比52.6%減）、営業損失は1千8百万円（前年同期営業利益3億5千9百万円）となりました。

【その他】

その他は、第1四半期に中国での感染拡大防止策として工場稼働停止等の制限を受け、第2四半期では制限緩和による販売回復があったものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億5千3百万円（前年同期比28.5%減）、営業損失は9百万円（前年同期営業損失3千9百万円）となりました。

【全体】

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は137億7千3百万円（前年同期比34.2%減）となり、経常損失は4億3千万円（前年同期経常利益1億6千2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億6千万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益3千6百万円）となりました。

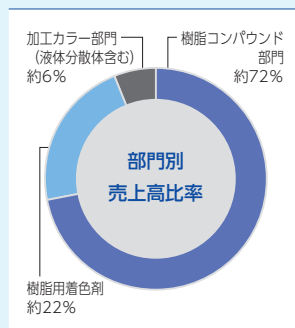
今後の見通し

日本国内では主要事業である樹脂コンパウンド部門において、自動車産業向けを中心に取引先での在庫調整が進み、秋口以降、需要環境は好転していることから当社の業績も改善しているものの、第2四半期までの実績が予想を大幅に下回ったことから、上期の損失を補うまでには至らないと想定しています。また、国内外で引き続き新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、東南アジア地区では、各拠点において各国の感染拡大防止策としての社会的制限を直接的、間接的に受け、制限下での生産・販売活動が続いていることなども踏まえ、通期業績については、当初の予想を下回る見込みとなったことから、11月13日に下方修正しております。

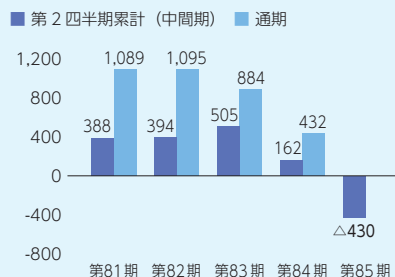
通期の連結業績予想（2020年11月13日公表）

売上高	29,800百万円
営業損失	100百万円
経常利益	10百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	未定
期末配当金（予想）	50円

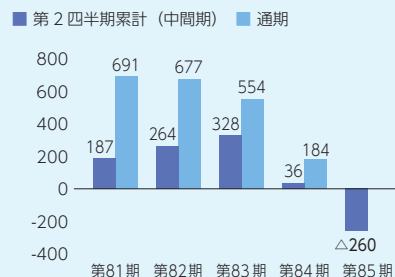
親会社株主に帰属する当期純利益は、11月13日に公表しました海外連結子会社（Nippon Pigment (S)Pte.Ltd.）の解散に伴う損益への影響額を精査中であるため、未定としております。



経常利益又は経常損失（△）（百万円）



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益又は親会社株主に帰属する四半期（当期）純損失（△）（百万円）



連結財務データ

■ 連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	当第2四半期末 2020年9月30日現在	前期末 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,248,021	13,979,840
固定資産	15,065,583	15,636,154
有形固定資産	9,796,977	10,295,068
無形固定資産	237,519	212,877
投資その他の資産	5,031,086	5,128,208
資産合計	27,313,604	29,615,995
負債の部		
流動負債	8,495,513	10,944,267
固定負債	5,873,917	5,031,705
負債合計	14,369,431	15,975,973
純資産の部		
株主資本	11,889,782	12,275,707
その他の包括利益累計額	146,418	376,993
非支配株主持分	907,972	987,320
純資産合計	12,944,173	13,640,021
負債純資産合計	27,313,604	29,615,995

■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,601	499,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383,903	△1,394,259
財務活動によるキャッシュ・フロー	710,306	466,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,662	△7,856
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	316,342	△436,918
現金及び現金同等物の期首残高	2,063,438	2,350,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,379,781	1,913,355

■ 連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高	13,773,587	20,929,128
売上原価	12,828,479	19,223,715
売上総利益	945,107	1,705,412
販売費及び一般管理費	1,406,244	1,554,892
営業利益又は営業損失（△）	△461,137	150,520
営業外収益	196,282	100,963
営業外費用	165,773	88,796
経常利益又は経常損失（△）	△430,627	162,687
特別利益	87,765	4,242
特別損失	655	879
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△）	△343,517	166,050
法人税、住民税及び事業税	10,127	88,426
法人税等調整額	△69,425	△36,923
法人税等合計	△59,298	51,502
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△284,219	114,547
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△23,907	77,559
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△260,312	36,988

▶ ポイント

連結貸借対照表について

資産合計は前期末に比べ23億2百万円の減少となりました。この主な要因は流動資産のうち「受取手形及び売掛金」が15億3千4百万円減少したこと、固定資産の「有形固定資産」が4億9千8百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は前期末に比べ16億6百万円の減少となりました。この主な要因は流動負債のうち「支払手形及び買掛金」が18億6千7百万円減少したこと、固定負債のうち「長期借入金」が8億8千3百万円増加したことなどによるものです。

純資産合計は前期末に比べ6億9千5百万円の減少となりました。この主な要因は株主資本のうち「利益剰余金」が3億8千5百万円減少したことなどによるものです。

事業紹介

“色”の専門メーカーとして、 高機能、高品質の製品を安定生産で提供します

プラスチックは、情報電子材料、OA機器、自動車内外装部品、工業部品、包装材、容器、日用品など、あらゆる分野で使用されています。当社はこれらに用いられるプラスチック製品の市場ニーズに応えるため、汎用的なカラーリングから、付加価値の高い各種機能性材料の複合化のほか、お客様の使用条件に応じた各種着色剤を提供しております。

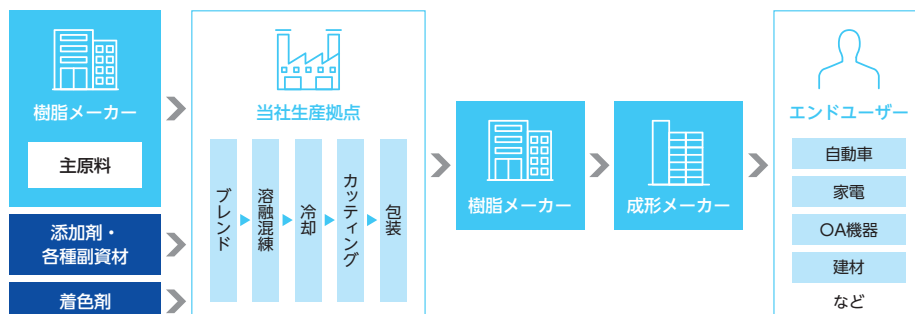
■ 樹脂コンパウンド事業

各種樹脂

【汎用樹脂・エンブラ・スーパーエンブラ】のコンパウンド

熱可塑性樹脂に各種添加剤・副資材・着色剤を配合して混練加工することで樹脂の機能性向上、付加価値の付与、改質などを行います。

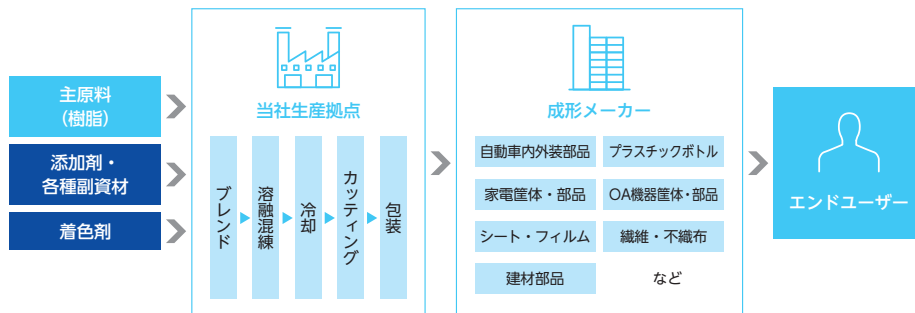
樹脂コンパウンド事業ビジネスモデル



■ 機能性カラー事業

着色マスターバッチ・機能性を付与したマスターバッチ・粉状、顆粒状、板状、ペースト状など加工カラーなどの各種樹脂用着色剤、FPDカラーフィルタ用液体分散体などを提供しております。

機能性カラー事業（マスターバッチ）ビジネスモデル



国内生産拠点



海外生産拠点のご紹介



エリア別 部門・海外拠点 主要製品

	部門・海外拠点	主要製品
日本	樹脂コンパウンド部門 機能性カラー部門 (樹脂用着色剤・加工カラー・液体分散体)	■ オレフィン樹脂・スチレン樹脂・エンジニアリングプラスチックなど各種樹脂コンパウンド ■ 自動車内外装部品用・シャンプー等プラスチック容器用・フィルム用・シート用・繊維用など樹脂用着色剤 ■ 自動車内装表皮材用・シーリング材用・床材用など着色剤 ■ FPDカラーフィルター用液体分散体
東南アジア	シンガポール マレーシア (2 拠点) インドネシア (2 工場)	■ オレフィン樹脂・スチレン樹脂・エンジニアリングプラスチックなど各種樹脂コンパウンド ■ 樹脂用着色剤
その他	中国	■ オレフィン樹脂・スチレン樹脂・エンジニアリングプラスチックなど各種樹脂コンパウンド ■ 樹脂用着色剤

会社の概要 (2020年9月30日現在)

概要

会 社 名	日本ピグメント株式会社 (Nippon Pigment Company Limited)
本 社 所 在 地	東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
代 表 者	取締役社長 加藤 龍巳
創 業	1925年 (大正14年)
事 業 内 容	当社グループは各種樹脂コンパウンド、各種樹脂用着色剤、インキ塗料用着色剤、電子材料用着色剤液体分散体などの製造、販売を行っております。
資 本 金	14億8,115万円
株 式	東京証券取引所市場第二部上場
主要な事業目的	1. 各種樹脂、ゴム、繊維等の着色剤の製造および販売 2. 各種樹脂の加工および販売 (樹脂コンパウンド) 3. 各種着色剤の製造および販売 4. 各種インキ、塗料とそれら関連材料の製造および販売

役員ならびに執行役員

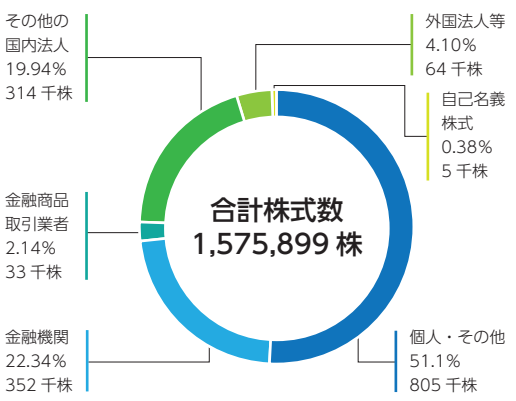
取締役社長	社長執行役員	加藤 龍巳	経営全般・内部監査室・購買部担当
取締役副社長	副社長執行役員	井手 譲司	経営管理本部・総務部・経理部・海外事業管掌、法務コンプライアンス統括室・品質保証室担当
取締役	執行役員	平岡 正彦	生産本部長、中国事業担当
取締役	執行役員	今井 信一	総務部・経理部・システム部担当
取締役	執行役員	光枝 孝宗	営業本部長
取締役	常勤監査等委員	三輪 幸一	
社外取締役	監査等委員	村松 伸一	
社外取締役	監査等委員	鈴木 洋子	
社外取締役	監査等委員	宮崎 達彦	
執行役員		武田 聡	特命担当
執行役員		田中 淳	生産本部副本部長
執行役員		田代 喜一	営業本部副本部長
執行役員		至田 順彦	経営管理本部長兼経営企画部長
執行役員		渡辺 紳司	開発本部長
執行役員		奥本 隆巳	生産本部副本部長兼埼玉川本工場長兼埼玉玉川工場長
執行役員		梶 英俊	総務部・経理部副担当
執行役員		難波 正文	営業本部副本部長兼樹脂コンパウンド統括部長

株式の状況

(1) 発行可能株式総数	3,000,000株
(2) 発行済株式総数	1,575,899株
	(うち自己株式 5,951株)
(3) 株主数	1,431名
(4) 大株主 (上位10名)	

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本ピグメント取引先持株会	174	11.10
株式会社みずほ銀行	70	4.46
株式会社十六銀行	69	4.45
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	61	3.92
日本化薬株式会社	51	3.31
東京海上日動火災保険株式会社	49	3.14
三井住友信託銀行株式会社	43	2.79
東レ株式会社	35	2.29
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	33	2.11
長瀬産業株式会社	32	2.08

所有者別株式分布状況



株主メモ

■ 上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
■ 証券コード	4119
■ 単元株式数	100株
■ 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	6月中
■ 基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日
■ 株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711（通話料無料） （郵送先） 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
■ 単元未満株式買取手数料 および買増手数料	無料
■ 公告掲載方法	電子公告といたします。 当社ホームページアドレス https://www.pigment.co.jp/ （ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。）

株式に関するお手続きについて

証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	● 住所・氏名等のご変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受領方法の指定 等

※未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711（通話料無料） （郵送先） 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
-----------------	--

※特別口座では、株式の売却はできません。

売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

HPのご案内

詳しいIR情報は当社ホームページにて掲載しています。

<https://www.pigment.co.jp/>

日本ピグメント株式会社

検索

HPへの
QRコード



日本ピグメント株式会社

